

医歯学祭を終えて

医歯学祭実行委員長 茂見 翔平
歯学科3年

2年前の先輩方から引き継いだ医歯学祭はついに3回目を迎えました。今年は10月26日・27日に、あいにくの天気ではありましたが第3回医歯学祭を開催することができました。

一昨年、昨年と年を重ねることにより良いものとなってきた医歯学祭ですが、昨年のテーマである「Step」を受けて、今年は「move on ～目指そう、その先～」をテーマに掲げ取り組みました。このテーマには、過去2回の開催で徐々に深まりつつある医学部と歯学部との交流を、同じ医療を学ぶ者としてより堅固なものに、という強い意志が込められています。さらには繋がりが出来たその先にあるものを追い求めるために、今こそ動き出さなければ！ という願いも込められています。

今年は一昨年、昨年の先輩方からのアドバイスもあり例年よりも早く話し合いや企画の準備をしました。企画の立案に関しては運営する学生個々のアイデアを尊重しつつ、より良いものとするために何度も話し合い、納得のいくものを完成させました。

普段、一般の方は日常生活において歯を意識する機会は少ないかと思います。また、「歯医者＝怖い」という意識をお持ちの方も大勢いらっしゃると思います。こういったことを考慮して、企画を通してどのようにしたら歯について関心を持っていただけるかを考えました。さらに歯学部としてだけでなく新潟大学に通うものとして、この医歯学祭を通して地域の方々に大学・大学病院を知っていただくための企画も用意させていただきました。

歯学部からは例年通り、「無料歯科相談」や3年生主体で「歯学部展示」などの歯科に関する催し物を用意しました。歯学部展示では石膏模型の製作、ミラクルフルーツ体験、骨密度測定の3つのコーナーで歯科について興味を持ってもらえるよ



うに工夫しました。小さなお子様には石膏模型製作が、大人の方には骨密度測定が大変人気でした。しかしそれらよりももっと人気を博していたのがミラクルフルーツ体験コーナーでした。ミラクルフルーツの原理については3年生で味覚について学んだばかりだったので来場した方に説明する際にその知識を活かして説明することができました。歯学部展示のコーナーを用意するに当たってお手伝いしていただいた先生方には大変お世話になりました。ご協力していただきありがとうございました。

約半年のあいだ医歯学祭実行委員長として活動してきました。先輩方から引き継いだ伝統をしっかりと残し、さらにより良いものを築いていかなくてはならないというプレッシャーもありましたが、無事に第3回医歯学祭を開催できたのも相談に乗ってくださった先生方や学務の方、そして一番近くで支えてくれた友達のおかげがあったからこそだと改めて実感しました。本当にありがとうございました。

年々規模が大きくなっている医歯学祭がより良いものになるように次の世代に頑張ってくださいたいです。応援してます。